

公民科「公共」における薬害授業 学習指導案

1. 日 時 令和5年1月30日(月) 第4時限(11:45~12:35)
2. 場 所 野崎高校 普通棟4階 1年2組教室
3. 学年・組・教科(科目) 第1学年2組(28名)・公民科(公共)
4. 単元(題材)名 薬害を学ぼう

5. 単元(題材)の目標

- (1) 薬害とは何かを、副作用との違いに着目しながら理解する。
- (2) 薬害がなぜ発生したのかを、国・製薬会社・医療関係者・国民それぞれの立場から理解できるようになる。
- (3) どうすれば薬害を防ぐことができるのかを、自分の言葉で表現できるようになる。

6. 使用教材

- ・リーフレット「薬害を学ぼう」(厚生労働省、令和4年改訂版)
→全生徒に配布するとともに、黒板右側のスクリーンにもリーフレットの内容を投影。
- ・厚生労働省の「薬害を学ぼう」のホームページに掲載されている被害者の声の動画
- ・授業用ワークシート(教員が作成)
- ・「薬害を学ぼう」のパンフレットをスクリーンに投影する。

7. 教材観

『高等学校学習指導要領解説【公民編】』(平成30年7月告示)においては、薬害問題を「市場経済の機能と限界」(p.139)などの経済分野に関連して扱うことが想定されているが、生徒や学校の実態や前後の指導内容との関連から、様々な分野で扱うことができると考えられる。

今回は、3学期に「政治的教養を育む教育」の一環として実施した。社会保障の一部である医療の問題は、常に、国民が選挙で投票する際に重視する政策項目としてあげられる。特に、歴史的にも医療に関する大きな社会問題となった薬害に関しては、様々な立場の関係者が相互に関わりあっており、国民が国や企業の動向をチェックし、関心を持ち続けることが重要である。薬害を通して、生徒たちの政治についての関心を高め、政治に向き合う態度の育成につなげることができると思う。

※令和4年度の1年生については、「政治的教養を育む教育」を公民科「公共」の授業内で行った。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">①18歳選挙権 選挙に行こう②選挙の種類と投票方法を学ぼう③投票先を判断するための情報の集め方を学ぼう<ul style="list-style-type: none">・どのようなことが争点になるのか(物価、消費税、雇用、教育、経済格差、防衛…)⇒それらの一つとして「薬害」について学ぶ。・インターネット、選挙公報などを利用して候補者や政党の情報を集めよう④模擬選挙の実施<ul style="list-style-type: none">…実際の投票用紙、投票箱を使用(大東市選挙管理委員会事務局より借用) |
|--|

授業の流れ

時程	指導内容、留意点	生徒の活動・反応
00分～	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、出欠確認 「薬害を学ぼう」パンフレット配布 授業ワークシート配布 	パンフレットを開いて見てみる
05分～	<ul style="list-style-type: none"> 発問「薬害って聞いたことある？」 発問「薬ってどんな時に使う？」 	ワークシートに今日のテーマ「薬害」を記入 <ul style="list-style-type: none"> ほとんどの生徒が「ない」 「しんどいとき」「病気を治すため」
10分～	主作用と副作用の違いについて説明、板書 ★単なる副作用と薬害は異なるという点を押さえる。	ワークシートに記入
15分～	パンフレットを見て、スモンとサリドマイド被害についての語句を記入するよう指示	パンフレットを見ながらワークシートに記入
20分～	「被害者の声」の映像を見せる <ul style="list-style-type: none"> スモン被害者 高町さん サリドマイド被害者 増山さん （時間があれば、薬害エイズ被害者 後藤さんの映像も見せる） ・どのような話が印象に残ったか、数名の生徒に聞く	映像とパンフレットを参考に、 <ol style="list-style-type: none"> ①被害者が苦しんだこと ②被害者の薬害についての考え、求めていること ③被害者の声を聴いての感想、意見を書きとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ほかの生徒の回答を聞く
35分～	パンフレットの図「薬害関係者（国、製薬会社、医療従事者、国民）の役割」を見せる	だれがどのような役割を果たせば薬害を防ぐことができるのかを考え、ワークシートに記入する。
45分～	振り返り	本時の授業を通して、初めて知ったこと、感じたことなどをワークシートに記入する。

●3学期の大テーマ：

選挙権を持つ有権者として政治に参加するために、必要な力を身につけていこう。

●今回のテーマ

・(1、薬害)とは何だろうか？ どうすれば防ぐことができるのだろうか？

1 薬害ってなんだろう？

●副作用と薬害の違いは？

・医薬品には、(2、効果 (主作用))と(3、副作用)がある。

▽ (例) 市販の風邪薬の場合

・効果… (4、病気の症状をおさえる)

・副作用… (5、ねむくなる)など。

⇒医薬品は、効果と副作用のリスクを理解したうえで、「使用上の注意」を守って正しく使う必要がある。副作用は、医薬品を正しく使っても避けられない場合がある。

しかし、単なる(6、副作用と薬害は異なる)問題である。

●薬害の例

チャレンジ！ その1 「薬害を学ぼう」のパンフレット3～4ページを見て、(ア)～(カ)に当てはまる言葉を書いていこう。

キノホルム製剤による(ア、スモン)の発生

■「キノホルム」は、1900年頃にスイスで傷薬として発売された薬で、日本では整腸薬として使われるようになりました。1960年代、キノホルムの入った整腸薬を飲んだ人に、全身のしびれ、痛み、(イ、視力障害)などが起こりました。当初は伝染病が疑われ、(ウ、原因究明が遅れた)ため、1万人を超える人が被害にあったといわれています。

サリドマイドによる(エ、胎児)の障害

■「サリドマイド」は1960年前後に睡眠薬や胃腸薬として発売された薬です。はじめは西ドイツで販売され、日本でも「(オ、妊婦や小児)が安心して飲める安全無害な薬」をキャッチフレーズに販売されました。

■ところが、この薬を妊娠初期に使用した母親から、手や足、耳((カ、聴力)、内臓などに障害のある子どもが次々と誕生したのです。

2 薬害とはどのようなものなのか、被害者の声を聴いてみよう

①スモン被害者 高町晃司さん



②サリドマイド被害者 増山ゆかりさん



③HIV 被害者 後藤智己さん



●映像を見て、次のことについて自由に書いてみよう。

被害者は、薬害でどんなことに苦しんだらう？

(例)・視覚障害のせいで、就職先が見つからなかった。

・学校でいじめにあったり、家族と離れ離れになったりした。

・HIV への差別・偏見に苦しんだ。

被害者は、薬害についてどのように考えているだろう？ 何をしてほしいだろう？

(例)・薬害被害者を受け止めてくれる社会になってほしい。

・薬の危険性を理解して、慎重に使用してほしい。

・正しい情報を公開して、正確な知識を得ることで、差別・偏見のない社会をつくってほしい。

被害者の声をきいて、感じたことや考えたことは？

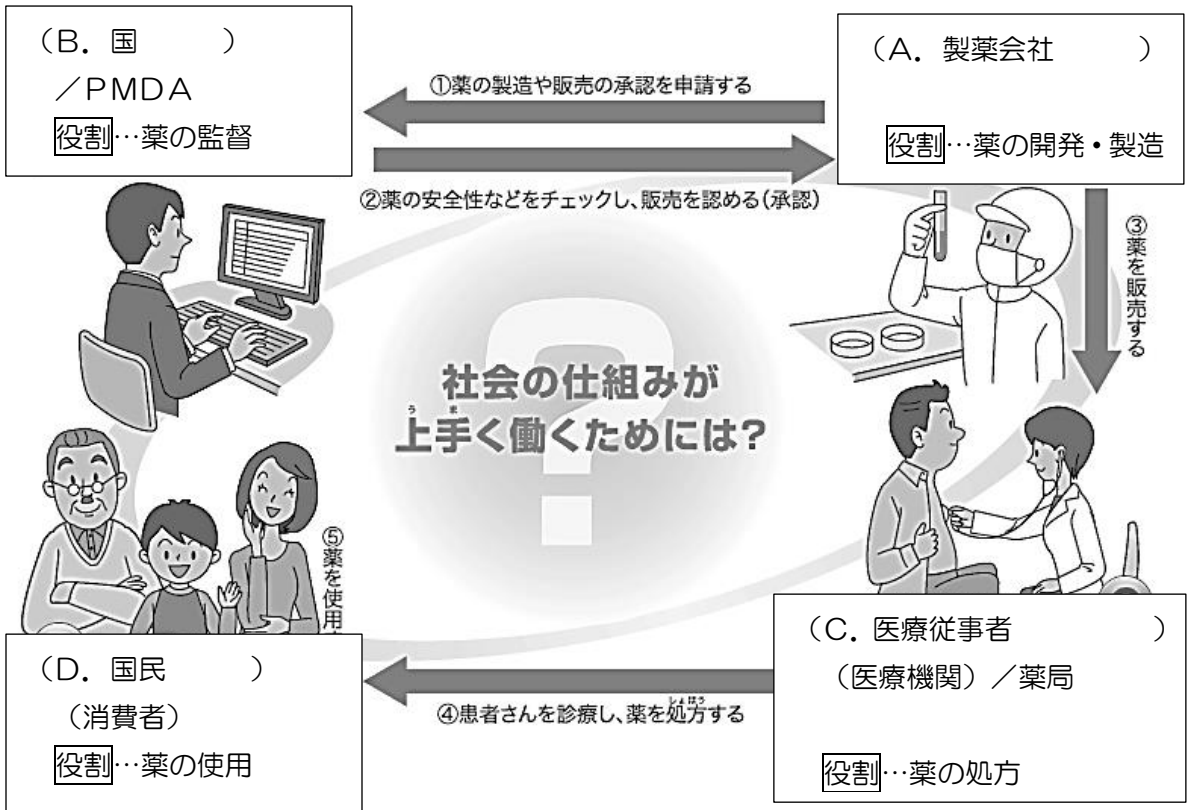
1 年 _____ 組 _____ 番 _____ 名前 _____

チェック

ウラへ続く！→

3 どうすれば薬害が起こらない社会になるのだろう？

- ・薬害の発生には、社会の中の次のような立場の人々が関係しています。
それぞれの立場の役割を見つめなおしてみよう。



チャレンジ！ その2 パンフレット6ページ右下「もっと詳しい役割を見てみよう！」

を参考に、①だれが(どの立場が)、②何をすれば薬害を防ぐことができるのか、

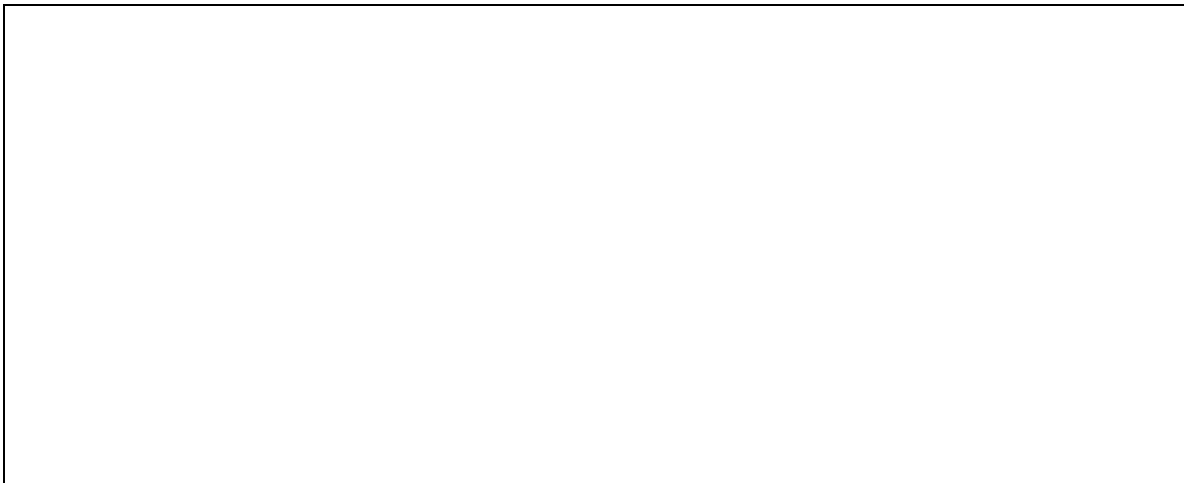
A・B・C・Dの4つの立場の「役割」に注目して考えてみよう。

(例) () が、() 。

自分の考え：
(例) D (国民) が、自分の使う薬に関心を持つ。
ほかの人の考え 名前：()
(例) A (製薬会社) が、薬の情報を隠さず公開する。

1年 組 番 名前

4 振り返り 薬害について新たに知ったこと、考えたことや感じたことを自由に書いてみよう。

A large empty rectangular box with a thin black border, intended for the user to write their reflections on drug damage.

テーマは「薬害」

ねらい：厚生労働省パンフレット「薬害を学ぼう」を起点に薬害とは何か、どんな薬害があるのかについて理解を深め、議論を交わしながら薬害に対してどう向き合うのか考えられるようにする

＜参考＞ア 現代経済の仕組みと特質（学習指導要領より）

「消費者に関する問題」（内容の取扱い）については、家計、企業、政府間の情報格差という情報の非対称性の観点から消費者保護の重要性を扱うだけでなく、消費者の自立支援の観点から指導することに留意することが大切である。また、例えば、製品事故、薬害問題などを扱い、行政や企業の責任にも触れるようにする。

日時：2023年1月18日（水）第5校時（13：30～14：20）

クラス：3年3組（38名 HR棟2階）

教材：『薬害を学ぼう』（発行：厚生労働省，2022年6月改訂版）
改訂版 政治・経済（数研出版2017年検定済，22年1月発行）＝教科書
最新図説 政経（浜島書店2022年2月5日印刷・発行）＝資料集

内容：①限：「薬害を学ぼう」を読み、薬害・被害者の声・原因を知る

教科書・資料集で消費者保護の単元を確認する。資料集P262の②食品被害と薬害を見て、過去の薬害4例（サリドマイド事件，スモン事件，薬害エイズ事件，薬害C型肝炎＝表記通り）について概要を確認する。

「薬害を学ぼう」を配布し，CDを視る（冒頭と体験者の声の一部）。その後，パンフレットを読み，気づいたこと，副作用との違いを確かめる。

グループごとに薬害を一つ選び，その内容について調べまとめる

本時＝②限：薬害の実態について深め，その特徴を探り，薬害について向き合い方を考える *1の前に導入及びオリエンテーションあり

1. 新しいグループに旧グループでまとめた各薬害の実態を持ち寄って説明する(10分)
2. 説明終了後，薬害の原因や広がりについて共通項を探る(15分)
3. 探った共通項をまとめて提示する(5分)
4. どう向き合えばいいのか，グループごとに話し合い，全体に対して理由を発表する（15分）

力点：グループの活動を通して学びあい，薬害についての理解を深める
薬害の名称や症状よりも，その背景や“害”の原因に注目する
薬害への学びからよりよい生き方につながるようにする

方策：グループ活動のまとめはジャムボードを用い，グループ内の共通理解を促すとともに，他のグループの情報も参考にして，よりよい発想やまとめができるようにする

第2編・第3節 日本経済と福祉の向上 4 消費者問題と消費者保護 テーマは『薬害』①

★「薬害を学ぼう」を読んでみよう！

・気づいたことを挙げてみよう！！

・薬の「副作用」と「薬害」ってどう違うのですか？ 手短かに説明してみよう！

◇薬害を一つ選び、その内容を調べまとめよう！ 名称【

いつ、どこで、どんなこと

被害の様子

原因

被害への対応

説明ポイント(印象を含めて)

◇それぞれの薬害を聞いて、{

}を考えよう！

◎